

未来へつなぐ、滋賀の宝。「しが棚田米」認証制度を創設！

～守る誇り、支える喜び。ボランティアとの協働が「おいしい」の付加価値に～



滋賀の棚田は、美しい景観だけでなく、土砂流出の防止や多様な生きものの棲み処といった、私たちの暮らしを守る「多面的な機能」を担っています。しかし、平地と比べ農作業に多大な労力を要し、高齢化による担い手不足から荒廃の危機に瀕しています。この度、県では棚田地域の住民とボランティアが手を取り合って保全している地域を応援するため、新たな認証制度を創設しました。

制度概要

単なるお米の格付けではなく、「棚田を守る活動」そのものを価値として認証します。

認証の対象

- 棚田ボランティア登録制度「たな友」の受け入れ地域で栽培されていること。
- 滋賀県独自の「環境こだわり農産物」の認証を受けていること。

認証ロゴマーク、パッケージ

制度創設にあわせて認証ロゴマークと統一パッケージデザインを作成しました。



左：しが棚田米認証ロゴマーク

右：統一パッケージデザイン※イメージ図

ロゴマーク

外枠は米粒の形を模し、棚田で育つ

「米」そのものを象徴しています。内部には、山あい広がる棚田の緑の段々と、その間を流れる清らかな水をデザインし、琵琶湖へとつながる滋賀の水の恵みを表現しました。自然環境と人の営みが調和して守られてきた棚田の価値を、やわらかく親しみやすい形で伝えることを意図しています。

統一パッケージ

棚田の風景と力強い筆文字で、自然の恵みと美しい景観をダイレクトに伝えるデザインにしています。

今後の予定

- しが棚田米認証制度の運用 令和8年4月～
- しが棚田米認証ロゴマークとパッケージを活用したお米の販売 令和8年9月～

たな友とは



滋賀県の棚田ボランティア登録制度（令和3年～）。「たな友」に登録すると、棚田ボランティア活動や棚田地域で開催されるイベント等のメールマガジンを受け取ることができます。令和8年2月までに累計488名が登録しており、令和6年度は、年間で425名が棚田ボランティアに参加されました。ボランティアの募集は、たな友ホームページで通年（特に4月～9月の農繁期の活動が特に盛ん）を通して受け付けています。

<https://tanatomo.jp>

